

外国人からも魅力を感じる街へ！

引間 太一
(二ニューウェーブ)



【質問】市のインバウンド対応について、外国人観光客に向けた観光に関する取組の現状について伺う。

【質問】観光事業の取組として、英語版のガイドマップを作成し、産業政策課で配布しているほか、都の観光案内所などに配架し、PRにも努めている。

【質問】市内在住の外国人の方が暮らしやすい環境を整える必要があると考え、市の取組について伺う。

【質問】主な取組としては、通訳・翻訳を必要とする所管課への外国語ボランティアの派遣、市内の外国人支援団体が行う日本語教室の会場確保や周知およびボランティアの募集や受け付け、自動翻訳機を活用した窓口対応、職員への多文化共生研修の開催、本市で生活を始めるときの生活ガイドとして、英語、中国語、韓国語、やさしい日本語の「東久留米市外国人のための生活便利帳」の発行および配布、の5点。

夏休みの「学童保育」で昼食提供を

梶井 琢太
(市議会立憲民主)



【質問】長期休業中の学童保育所でお弁当の提供について調査研究の状況は、来年夏休みの実施へ早期に検討すべきか。

【質問】発注、弁当の受け取り、配膳、空き弁当返却、支払い等の課題があるが、民間活力を導入した学童保育所を提供を実施・試行する事例があり、学童保育所運営業務委託の受託事業者と来年の夏休みを念頭に協議を行っていく。

【質問】来年夏休みの検証後、問題ない場合、委託以外の所舎にも拡大すべきか。

【質問】協議が調った際、実施状況を確認した上でその後の対応を検討する。

【質問】学校のICT教育で課題は、ICTは目的でなく手段。目指すICT活用は使う場面や使い方を個々が選べる紙とタブレットの併用。研修会で検討し効果的な活用を検討。

【質問】校内の電波が届かない箇所でのWi-Fi増設や設置を検討すべきか。

【質問】未整備の特別教室で対応を検討。

情緒特別支援級と不登校連絡協議会

岩崎 さやこ
(国民民主党)



【質問】中学校における自閉症・情緒障害の特別支援学級設置の考えを伺う。

【質問】小学校では特別支援教室や特別支援学級にて心理的な安定を図ることなどに関する指導をし、中学校では特別支援教室を中心に学力や集団適応能力の伸長に努めている。他市の成果と課題等の情報収集や、国や都の動向を注視し、調査・研究していく。

【質問】不登校の児童・生徒への支援団体を明記したマップ等の作成や、団体連絡協議会の創設について見解を伺う。

【質問】不登校の児童・生徒が利用できる施設などをまとめたリーフレットを作成している。協議会の創設については、現状、スクールソーシャルワーカーが支援団体などと学校をつなぐ役割を果たしていることが多い。支援団体などでの児童・生徒の様子を観察し聞き取ったことを定期的に学校と指導室に報告し、共有している。

「魅力のあるまち東久留米」へ

沢西 卓哉
(自民クラブ)



【質問】職員の市内居住者と市外居住者の割合について伺う。

【質問】正規職員の割合は、市内居住者が36・5%、市外居住者は63・5%。市内在住者を増やせればと考える。1点目に、災害時に参集しやすい2点目に、担税力。3点目に、まちの魅力・様子を肌で感じること、自分で感じてもらう。採用試験に市内在住者枠を設けるよう提案する。

【質問】ウォーキングアプリを活用した健康づくりの検討状況について伺う。

【質問】運動を習慣にできる環境づくりに取り組む、ウォーキングマップ等の情報発信ツールのデジタル化を図る、市の魅力発信に取り組む、以上3点を目標に定め、検討を進めている。

【要望】歩いた歩数や歩いて消費したカロリーをポイントに換算して、市の特産品などと交換できるような、お徳感のあるアプリを提案する。

一般質問

市政のここが聞きたい

第4回定例会の一般質問は、12月6日・7日・8日・11日の4日間で行われ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第4回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、2月下旬から、市ホームページ（PDF版は2月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（市役所1階）でご覧いただけます。

高齢者の健康寿命の延伸について

篠宮 よしのり
(自民クラブ)



【質問】公共施設への取組に関し、今後の検討においては近隣自治体との広域連携も必要と考えるが、見解を伺う。

【質問】今後の検討の際、施設総量を増やさずに市民の利便性向上を図れるよう、広域連携など課題と認識している。

【要望】地域や組織の枠を超えた連携など長期的・広域的な視点で必要な対応を選択していくことが重要である。引き続き、市を支える未来志向の公共施設への取組をお願いする。

【質問】本市における今後のフレイル予防について見解を伺う。

【質問】各課にて介護予防につながる講演会等の事業を実施しており、今後も保健・医療・福祉の部門・機関と連携し取り組むほか、より効果的な手法や一体的な実施を検討していく。

【要望】関係機関も含め各課での連携を強めながら、高齢者の健康寿命の延伸に取り組んでいただきたい。

企業誘導とまちづくり

三浦 猛
(公明党)



【質問】市の特徴や強みは何と考えるのか。その上で、誘導したい業界等は考えているのか。

【質問】公共インフラの整備が進み、都心へのアクセスも良いことから特徴的な商業施設も立地しており、生活拠点としての都市機能は整ってきている。一方で、多くの自然とともに、農業も盛んで、地元の新鮮な野菜も味わえる。このように、市の強みは都市と自然が調和していること。特定の業種に限らず、地域ににぎわいをもたらす新たな産業・事業の創出が必要と考えている。

【要望】私が望むのは、各種エンタメコンテンツやファッション、デザイン等多岐にわたるクリエイティブ産業。クリエイティブ人材が市に縁すること、先々、まちづくりに良い影響を与える可能性があると考える。今後の企業誘導については、このような目も持って取り組んでいただきたい。

食品ロス削減・フリーWi-Fi

高橋 和義
(公明党)



【質問】東久留米市食育推進基本方針（素案）について、①メリットは、②ごみ対策課以外の公共施設などでのフリードライプの実施について見解は。

【質問】①国や都の食育推進内容と方向性は一致し、その上で各施策を推進する上でも、実務における連携を図りやすくなるなどの効果があると考える。

【質問】状況の把握に努め、検討を重ねる。

【質問】単独館の地区センターへのWi-Fiの設置状況について伺う。

【質問】10月1日より、指定管理者による自主事業として、中央地区センターに試行的にWi-Fiを設置・導入している。他4館の単独館の地区センターは設置を行っていない。

【質問】デジタル化の観点から、今後の情報通信活用の在り方について、具体的な想定を伺う。

【質問】近未来型オフィス構築に向け検討等を進めており、環境等整備が課題。

物価高騰の中で市民負担増やすな！

村山 順次郎
(日本共産党)



【質問】来年度の国保税は、一般会計からの繰り入れも含め、引き上げとならないよう対応を図ってほしいが。

【質問】基金を活用し、負担の急増とならないよう年度間の税率平準化を図りつつ、一般会計繰入金金の抑制、医療費の適正化を図ることが重要。国保運営協議会の議論も踏まえ、検討する。

【要望】市民の暮らしの現状を考えると、新たな負担増をお願いする状況にはない。手だてを取ってほしい。

【質問】施設整備プログラムの再起動を図りつつ、生涯学習センターの速やかな大規模改修を求めるが、見解は。

【質問】同センターは「未来志向の公共施設の方針」に沿って優先的に検討を進める施設に抽出されており、市全体の状況を見ながら検討している。安全面や緊急性等の観点から必要な改修等については、当面の施設保全の優先度を設定して行っていく。

東久留米に点字学習の場を！

かやま 玲子
(市民自治フォーラム)



【質問】視覚障害者の9割が点字を読むことが出来ない状況である。本市で点字を学ぶ機会を提供できないか。

【質問】視覚障害者の情報取得に関する支援はさまざま実施しているところであり、新たに点字学習に関する事業を実施する考えはない。

【質問】日本人における視覚障害の原因疾患の第一位は緑内障であると言われている。緑内障の初期は自覚症状がなく、治療せずに放っておくと失明につながる恐れがある。本市は目の定期健診を実施していないが、歯の定期健診と同様に、40才から実施すべきと考えるが。

【質問】本市の健診は、法律に基づき実施しており、歯科検診の実施期間も9月から11月の3カ月となっている。眼科については、市の健診を実施している医療機関は市内6カ所であり、3カ月の間で対象者の健診を実施することは難しいと考えている。